

キャラクター名
不知火 鸞 (しらぬい らん)

プレイヤー名

シンドローム	ブラム=ストーカー エグザイル	ワークス	何でも屋	カヴァー	フリーター
オプション		年齢	21	性別	女性
覚醒	生誕	衝動	吸血	初期侵食率	37 %
出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	33
肉体	3	1	0		2	6	行動値	9
感覚	3	0	0		1	4	(非装備時)	9
精神	1	0	0			1	戦闘移動	14
社会	1	0	0			1	全力移動	28

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			RC			交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	1	
運転:			芸術:			知識:			情報: 噂話	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
剥き出しの殺意		3	6	Lv+5		骨の剣(1) 命中-1
剥き出しの殺意		3	6	Lv+5		骨の剣(2) 命中-1
真紅の盟約(10dx@8)	白兵	6r+1	12	6		D(2)+伸縮(1)+鮮血(5)+渴き(2)+I(2)+骨の剣(1)
真紅の盟約(11dx@8)	白兵	7r+1	12	6		D(2)+伸縮(1)+鮮血(5)+渴き(2)+I(2)+骨の剣(1)

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
Dロイス:ロストナンバー(実験体)	P	N		
久我山 亮	P 誠意	N 隔意		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
コンソレイト	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果:	CL: -Lv (下限値7)							
骨の剣	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果:	(白兵) 素手強化: 攻+[Lv+5]、命中: -1に変更 G値:6							
エンタングル	2	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	ダメージでBS「重圧」付加 Lv回/シーン							
伸縮腕	1	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	射程視界に変更 ダイス-[3-Lv]個							
鮮血の一撃	5	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果:	ダイス+[Lv+1]個メインプロセス後HP-2							
渴きの主	2	4	メジャー	至近	単体	対決	-	
効果:	装甲無視、回復: 命中でHP+[Lv*4]							
ブラッドバーン	3	4	メジャー	-	-	対決	80↑	
効果:	攻: +[Lv*4]メインプロセス後HP-5							
瀉血	★	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	美しい容姿と健康を保てる							
生体侵入	★	4	メジャー	至近	単体	自動	-	
効果:	戦闘不能や意識不明の他者に成ります。隠密状態になる。							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

あなたは日常生活をおくる裏側でUGNや公安から雇われ能力者をやっている。今回もあなたはUGNからの依頼で、工場地帯でヤクザの密輸を妨害していた。ヤクザを制圧し、あなたは密輸されるものがなにか確かめようとコンテナを開けてみると、中には多くの人間が乗っていた。彼らは廃人とかしているのか、ブツブツとなにごとかつぶやいている。仕事を終えたあなたは、あらかじめ呼んでおいたタクシー運転手、兼情報屋のミッドナイトドライバー: 久我山亮の操るタクシーに乗り込む。彼から今回の任務の報酬と同時に、新しい任務の情報を得る。

私の名前は、不知火 鸞。
UGNの頼りないうさぎちゃん達や警察の犬共が処理しきれない案件を報酬と引き換えに処理している、いわゆる「便利屋」ね。組織の中で仕事をするのはあまり得意ではなくて普段は一人で仕事をしているわ。生まれた時から一人だったから。というのも、12年前、FHの抱える、ある研究所で大爆発事故が起こったの。そこで唯一助けられたのが私。どうやら私はFHの研究者達によってレネゲイドウイルスを投与する実験体にされていたみたい。実験には不要だったのか知らないけれど、ご丁寧に記憶も消されちゃったわ。全く、私の体に勝手なことしてくれるわよね。
でもね、そのおかげで今のこの能力に目覚めたことに関しては残念だなんて思っていないわ。むしろ感謝してるくらい。
UGNの依頼を大義名分に、雑魚共を好きに打ちのめして、そいつらの血を体内に取り込んでるときなんか最高の快感だしね。あら、またUGNから依頼の連絡が来たわ。今回はどんな血が楽しめるのかしら。